



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月9日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
 コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岡村 信悟
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CF0経営企画本部長 (氏名) 大井 潤 (TEL) 03(6758)7200
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	68,085	△1.0	13,345	△36.2	27,834	6.7	22,997	15.5	22,684	18.4	14,144	△66.6
2021年3月期第2四半期	68,796	5.4	20,919	314.7	26,097	246.7	19,908	304.6	19,154	299.2	42,356	178.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	189.82	189.59
2021年3月期第2四半期	154.75	154.54

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分合計	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	323,893	230,617	225,479	69.6
2021年3月期	327,121	228,659	223,711	68.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2022年3月期の配当予想は未定です。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、営業減益となる見込みであります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 、 除外 一社

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	130,210,945株	2021年3月期	130,210,945株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	11,681,476株	2021年3月期	8,152,593株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	119,500,509株	2021年3月期2Q	123,778,764株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(2022年3月期2Q:197,771株、2021年3月期:199,619株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- (2) 配当予想金額に関して

2022年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

- (3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2021年11月9日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	11
① 追加情報	11
② セグメント情報	11
③ 1株当たり利益	13
④ その他の収益	14
⑤ 持分法で会計処理している投資	14
⑥ 重要な後発事象	14

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)において当社グループは、中長期で企業価値を向上させるべく、エンターテインメント領域と社会課題領域の2つの領域の特徴を活かした収益基盤の形成、および、両領域のシナジー形成を含めたIT企業の新しい進化の体現、また、一層強い事業ポートフォリオ実現に向けた非連続な成長のための挑戦に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間において、売上収益は、ライブストーリーミング事業の成長や、前年同期と比したスポーツ事業の回復があったものの、主にゲーム事業の減収により、前年同期比で減収となりました。

売上原価については、ライブストーリーミング事業やゲーム事業の推移等に応じて変動する支払手数料等が増加し、前年同期比で増加いたしました。

販売費及び一般管理費の前年同期比での変動は限定的となりました。

その他の収益・費用(純額)は、5,605百万円の利益と、前年同期の10,058百万円の利益から減少しております。当第2四半期連結累計期間につきましては、株式会社IRIAMの全株式を取得したことによる、段階取得に係る差益2,273百万円や、主に株式会社横浜DeNAベイスターズの営業休止に伴う損失補償金2,090百万円等をその他の収益に計上しております。一方で、前年同期には、タクシー配車アプリ等に関する事業の吸収分割に起因する移転損益2,045百万円やSHOWROOM株式会社の当社保有株式の一部譲渡に伴う子会社株式売却益7,889百万円等を計上いたしました。

持分法による投資利益は、12,303百万円(前年同期比397.7%増)となりました。当第2四半期連結累計期間においては、主な持分法適用関連会社である株式会社Cygamesや株式会社Mobility Technologiesの業績動向のほか、当該期間中に行った株式会社Mobility Technologiesにおける第三者割当増資による一時収益の計上が影響いたしました。

以上の結果、当社グループの売上収益は68,085百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は13,345百万円(同36.2%減)、税引前四半期利益は27,834百万円(同6.7%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は22,684百万円(同18.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は38,808百万円(前年同期比16.8%減)、セグメント利益は6,398百万円(同42.1%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間は、既存のタイトルを中心とした事業運営となり、ユーザ消費額は前年同期比で減少し、前年同期比で減収減益となりましたが、収益基盤の強化に向けては、当第2四半期連結会計期間には、新規タイトルのリリースが進捗いたしました。

②スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は9,439百万円(前年同期比41.6%増)、セグメント利益は700百万円(前年同期は1,024百万円の損失)となりました。

今シーズンのプロ野球の公式戦は、2021年3月26日に開幕し、観客動員の制約等、感染症対策を講じながらの興行となりました。また、第2四半期連結会計期間には、東京2020の開催に伴い、横浜スタジアムでのプロ野球公式戦の主催試合は、例年の同時期に比べ少ない開催となりました。

なお、昨シーズンのプロ野球の公式戦は、例年より遅い、2020年6月19日からの開幕となり、当初は無観客での試合開催となる等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がありました。

③ライブストーリーミング事業

ライブストーリーミング事業の売上収益は16,748百万円(前年同期比45.5%増)、セグメント利益は2,888百万円(同20.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、国内の「Pococha(ポコチャ)」が好調に推移いたしました。①「Pococha」の国内での更なる成長・強化、②ジャンルの多様化を伴った市場の成長・発展を見据えた新たなジャンルへの挑戦、③「Pococha」のグローバル版のサービス開発に注力し、市場成長機会を捉えるべく、成長投資も積極

的に実施しております。

なお、2021年8月2日には、キャラクターの姿でライブ配信を楽しめる「IRIAM（イリアム）」を運営する株式会社IRIAMが100%子会社となりました。また、SHOWROOM株式会社の業績は、2020年6月30日を期日とした同社の当社保有株式の一部譲渡により、当社の持分法適用関連会社となっており、前第2四半期連結会計期間よりセグメント別の業績には含んでおりません。

④ヘルスケア事業

ヘルスケア事業の売上収益は1,075百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント損失は534百万円（前年同期は714百万円の損失）となりました。

「MYCODE（マイコード）」「kencom（ケンコム）」等、ヘルスケアサービスの分野における既存の提供サービスの利用は堅調に推移した一方で、将来に向けた先行投資を行いました。

なお、「歩いておトク」は、2021年4月30日にサービスが終了しております。また、2021年9月1日には、認知症関連サービスを有する日本テクトシステムズ株式会社を株式交換により100%子会社としました。

⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は2,051百万円（前年同期比36.5%減）、セグメント損失は116百万円（前年同期は211百万円の損失）となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みやEC事業におけるサービス等を含んでおります。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は323,893百万円（前連結会計年度末比3,228百万円減）となりました。

流動資産は103,382百万円（同26,505百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び現金同等物が21,443百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は220,511百万円（同23,277百万円増）となりました。主な増加要因はのれんが16,780百万円増加したこと及び持分法で会計処理している投資が12,793百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は93,276百万円（同5,187百万円減）となりました。

流動負債は35,039百万円（同5,937百万円減）となりました。主な減少要因はその他の流動負債が5,193百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は58,237百万円（同750百万円増）となりました。主な増減要因はリース負債が2,522百万円増加したこと及び繰延税金負債が1,970百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は230,617百万円（同1,958百万円増）となりました。主な増加要因は利益剰余金が18,710百万円増加したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第2四半期連結会計期間末において流動比率295.1%、親会社所有者帰属持分比率69.6%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21,443百万円減少し、75,859百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12,821百万円（前年同期は15,325百万円の収入）となりました。主な収入要因は税引前四半期利益27,834百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17,625百万円（前年同期は4,989百万円の支出）となりました。主な支出要因は子会社又はその他の事業の取得による支出11,526百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は16,567百万円（前年同期は11,380百万円の収入）となりました。主な支出要因は自己株式の取得のための支出10,868百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、営業減益となる見込みであります。

その背景、及び、各事業の動向等につきましては、2021年5月7日に公表しました「2021年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	97,301	75,859
売掛金及びその他の短期債権	27,174	20,851
その他の短期金融資産	1,011	1,088
その他の流動資産	4,400	5,583
流動資産合計	129,887	103,382
非流動資産		
有形固定資産	2,301	2,212
使用権資産	16,747	19,552
のれん	5,883	22,663
無形資産	6,055	8,084
持分法で会計処理している投資	41,024	53,817
その他の長期金融資産	124,003	113,141
繰延税金資産	986	701
その他の非流動資産	236	341
非流動資産合計	197,235	220,511
資産合計	327,121	323,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	20,044	18,570
リース負債	2,653	2,646
未払法人所得税	1,364	2,522
引当金	4,449	3,978
その他の短期金融負債	526	576
その他の流動負債	11,940	6,747
流動負債合計	40,976	35,039
非流動負債		
借入金	20,000	20,164
リース負債	4,485	7,007
引当金	72	169
その他の長期金融負債	401	301
繰延税金負債	32,174	30,205
その他の非流動負債	354	391
非流動負債合計	57,487	58,237
負債合計	98,463	93,276
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	16,282	16,088
利益剰余金	151,747	170,457
自己株式	△15,061	△22,841
その他の資本の構成要素	60,346	51,379
親会社の所有者に帰属する持分合計	223,711	225,479
非支配持分	4,948	5,138
資本合計	228,659	230,617
負債及び資本合計	327,121	323,893

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	68,796	68,085
売上原価	△29,721	△32,105
売上総利益	39,075	35,980
販売費及び一般管理費	△28,215	△28,240
その他の収益	10,191	6,001
その他の費用	△132	△396
営業利益	20,919	13,345
金融収益	2,793	2,870
金融費用	△86	△684
持分法による投資利益	2,472	12,303
税引前四半期利益	26,097	27,834
法人所得税費用	△6,189	△4,837
四半期利益	19,908	22,997
以下に帰属する四半期利益		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	19,154	22,684
四半期利益：非支配持分に帰属	754	313
合計	19,908	22,997
		(単位：円)
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	154.75	189.82
希薄化後1株当たり四半期利益	154.54	189.59

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	19,908	22,997
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	22,419	△8,584
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	22,419	△8,584
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	△32	△179
その他	60	△90
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	28	△269
その他の包括利益(税引後)	22,448	△8,853
四半期包括利益合計	42,356	14,144
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	41,289	13,831
四半期包括利益：非支配持分に帰属	1,067	313
合計	42,356	14,144

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	10,397	15,237	163,564	△45,139	36,428	180,486	6,833	187,319
四半期利益	—	—	19,154	—	—	19,154	754	19,908
その他の包括利益	—	—	—	—	22,134	22,134	313	22,448
四半期包括利益合計	—	—	19,154	—	22,134	41,289	1,067	42,356
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△2,510	—	—	△2,510	△753	△3,263
自己株式取引による増加(減少)	—	△18	—	△2,433	—	△2,450	—	△2,450
自己株式の消却	—	△35,616	—	35,616	—	—	—	—
株式報酬取引による増加(減少)	—	15	—	—	23	38	—	38
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	35,622	△35,622	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	617	—	—	—	617	665	1,282
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	△52	△52	△2,925	△2,977
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	416	520	—	△763	173	575	749
2020年9月30日残高	10,397	16,273	145,107	△11,956	57,770	217,591	5,461	223,052

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	10,397	16,282	151,747	△15,061	60,346	223,711	4,948	228,659
四半期利益	—	—	22,684	—	—	22,684	313	22,997
その他の包括利益	—	—	—	—	△8,853	△8,853	0	△8,853
四半期包括利益合計	—	—	22,684	—	△8,853	13,831	313	14,144
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△3,906	—	—	△3,906	△211	△4,117
自己株式取引による増加(減少)	—	△58	—	△10,611	△201	△10,870	—	△10,870
株式交換による変動	—	6	—	2,831	—	2,837	—	2,837
株式報酬取引による増加(減少)	—	14	—	—	87	100	—	100
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	52	△52	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	△208	—	—	—	△208	471	262
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—	△482	△482
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	0	△16	—	—	△16	100	84
2021年9月30日残高	10,397	16,088	170,457	△22,841	51,379	225,479	5,138	230,617

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	26,097	27,834
減価償却費及び償却費	2,675	2,810
事業分離における移転利益	△2,045	△197
関係会社株式売却益	△7,889	△411
減損損失	2	299
受取利息及び受取配当金	△1,468	△2,606
支払利息	28	42
持分法による投資損益(△は益)	△2,472	△12,303
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△2,273
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	△1,567	6,417
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	1,992	△1,463
前受金の増減額(△は減少)	△27	△4,377
その他	△1,839	△2,411
小計	13,485	11,361
配当金受取額	1,448	2,586
利息支払額	△20	△33
利息受取額	20	21
法人所得税支払額	△355	△1,174
法人所得税還付額	745	59
営業活動による正味キャッシュ・フロー	15,325	12,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の取得による収入	—	232
子会社又はその他の事業の取得による支出	—	△11,526
子会社又はその他の事業の売却による収入	45	198
子会社又はその他の事業の売却による支出	△191	△974
関連会社株式の取得のための支出	△950	△309
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	4,252	31
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△1,992	△2,029
有形固定資産の取得	△3,365	△277
無形資産の取得	△2,801	△3,120
その他	13	149
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△4,989	△17,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	20,000	—
借入金の返済	△3,000	△3
リース負債の返済	△1,384	△1,586
配当金支払額	△2,510	△3,904
非支配持分からの払込による収入	1,282	—
非支配株主への配当金支払額	△566	△211
自己株式の処分による収入	3	4
自己株式の取得のための支出	△2,445	△10,868
財務活動による正味キャッシュ・フロー	11,380	△16,567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,715	△21,371
現金及び現金同等物の期首残高	73,536	97,301
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△249	△72
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4,374	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,629	75,859

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

① 追加情報

(重要な会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の「連結財務諸表注記 10. のれん」に記載した、新型コロナウイルス感染症の拡大によるプロ野球事業への影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

② セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「スポーツ事業」、「ライブストリーミング事業」、「ヘルスケア事業」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
ヘルスケア事業	ヘルスケア関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「MYCODE（マイコード）」、「kencom（ケンコム）」等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： IP創出プラットフォーム事業、EC事業、その他の新規事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、2021年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間

(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	スポーツ 事業	ライブスト リーミング 事業(注) 2	ヘルスケア 事業	新規事業 ・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	46,667	6,606	11,508	923	3,092	—	68,796
セグメント間の売上収益	5	61	—	—	138	△205	—
計	46,673	6,667	11,508	923	3,231	△205	68,796
セグメント利益(損失)(注) 1	11,043	△1,024	2,395	△714	△211	△629	10,860
その他の収益・費用(純額)							10,058
営業利益							20,919
金融収益・費用(純額)							2,707
持分法による投資利益							2,472
税引前四半期利益							26,097

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「ライブストリーミング事業」に属する「SHOWROOM(ショールーム)」を運営するSHOWROOM株式会社の一部株式を、2020年6月30日付で譲渡し、同社に対する支配を喪失したことから、同社は当社の持分法適用関連会社となっております。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間

(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	スポーツ事業	ライブストリーミング事業 (注) 2	ヘルスケア事業	新規事業・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	38,801	9,415	16,748	1,075	2,046	—	68,085
セグメント間の売上収益	7	24	—	—	5	△36	—
計	38,808	9,439	16,748	1,075	2,051	△36	68,085
セグメント利益(損失) (注) 1	6,398	700	2,888	△534	△116	△1,596	7,740
その他の収益・費用(純額)							5,605
営業利益							13,345
金融収益・費用(純額)							2,186
持分法による投資利益							12,303
税引前四半期利益							27,834

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 2021年8月2日付で、「IRIAM(イリアム)」を運営する株式会社IRIAMの全株式を取得し、同社は当社の連結子会社となったため、当該サービスを当第2四半期連結累計期間より「ライブストリーミング事業」に含めております。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	19,154	22,684
基本的期中平均普通株式数 (株)	123,778,764	119,500,509
希薄化性潜在的普通株式の影響 ：ストック・オプション等	163,554	148,949
希薄化後の期中平均普通株式数	123,942,318	119,649,458
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	154.75	189.82
希薄化後1株当たり四半期利益	154.54	189.59

④ その他の収益

当第2四半期連結累計期間において、主に株式会社横浜DeNAベイスターズで営業休止に伴う損失補償金を受け取り、要約四半期連結損益計算書の「その他の収益」に、2,090百万円を計上しております。

⑤ 持分法で会計処理している投資

当社の持分法適用関連会社である株式会社Mobility Technologies（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島宏）は、第1四半期連結会計期間において、第三者割当増資を行いました。これにより当社の同社に対する持分が変動し、当第2四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において「持分法による投資利益」に4,368百万円を計上しております。

⑥ 重要な後発事象

該当事項はありません。